

やさしさと香りのある暮らし

Sanders Perry Garden

サンダース・ペリー・ガーデン

なめらかなモチモチ肌へ

植物オイルマッサージ

新連載 サンダース・ペリー物語 / 明野ハーブ農場だより

オイルマッサージ・マスター講座

サンダース・ペリーでは、毎日のお手入れに2〜3分のオイルマッサージをおすすめしています。マッサージで肌はポカポカ。さらに、化粧水やクリームがなじみやすい状態へと整えます。



1 額

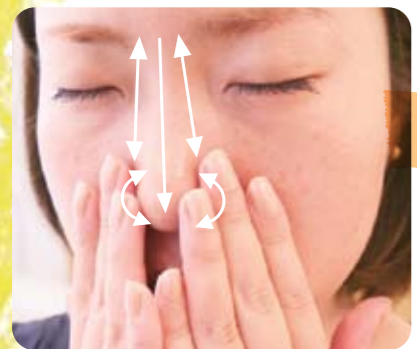
額を引き上げるようにらせんを描いて、最後にこめかみをおさえます。

Point!
力を入れずやさしく指をすべらすように。




2 目もと

目もとは、やさしく円を描くように指をすべらせる。目の下は、目頭から目尻の方向に指を軽くすべらせて、こめかみをおさえる。



3 鼻

鼻すじは上から下へ、側面は上下に往復します。小鼻は下から上に往復。

マッサージに最適な植物オイル
なめらかでしっとり。軽いすべり心地。保湿効果に加え、オイル特有のベタつき感が少ないのが特長。肌なじみがよく軽い力で肌マッサージができます。

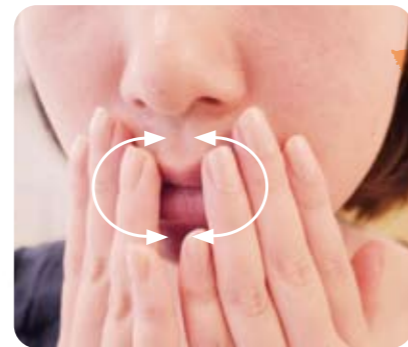
サンフラワー ティッシュオイル
120mL/4,860円(税込)
※消費税8%の税込価格にて表記しております。



手のひらでオイルを温めると、マッサージしやすくなります!

基本のお手入れ

- 1 大さじ1杯程度を手のひらにだす。
- 2 オイルを顔全体にのぼす。
- 3 ゆっくりとマッサージ。
※行程を各3回。
- 4 ホットタオルで押さえ拭き。
※ティッシュでも可



4 口もと

口のまわりは半円を描くように下から上に往復します。

Point!
指すべりが悪くなったらオイルをつけ足しましょう。



5 頬

頬は手のひら全体を使って、らせんを描くようにマッサージ。最後にこめかみをおさえる。

Point!
肌がポカポカするのを感じながら、なでるように。

手軽にできるオイルマッサージでいきいき明るい肌へ

植物オイルでマッサージ! 触りたくなるモチモチ肌へ

コムギ胚芽油

他の植物油に比べ、ビタミンEの含有量が多いのが特長。皮膚の保護効果に優れ、肌荒れを防ぐ効果が期待できます。

サンダースで使用しているコムギ胚芽油は、アレルギーの原因となる小麦タンパクを含まないものを使用しています。



植物オイル100%。
太陽の花ヒマワリ、コムギ、レモン。
美容成分がたっぷりつまっています。



ヒマワリ種子油

ビタミンEを含み、皮膚を保護する効果があります。スキンケア効果が高く、肌になめらかさと柔軟さを与えてくれる優秀な美容成分です。

レモン果皮油

レモンの果皮はビタミンを豊富に含み、脂っぽい肌をさっぱりと整えます。柑橘系の香りは、気分をさわやかにフレッシュさせます。



オイルマッサージによる美容効果

血行促進

→老廃物を流し、肌に美容成分を届ける。

肌の柔軟効果

→オイルが肌を柔らかくし、ふっくらもっちり感触に。

たるみ、むくみ予防

→フェイスラインすっきり。ハリとつやのある肌へ。



マッサージ後の肌はひかひか!

「サンダース・ペリーの考え方」

顔の皮膚も体の一部。安全で品質の高い食べ物をバランスよく体へ取り込むことは、とても大切なことです。創始者ロナルド・ジョン・ハリントンは「化粧品は肌への食べ物」という考えから毎日お手入れに使うものこそ、シンプル、安全、質の高いものをと提唱し続けました。サンダース・ペリー化粧品は、天然の素材から肌の健康維持に必要な成分を抽出し、お作りしています。

サンダース・ペリー物語

これは姉弟のやさしい愛情から
始まった物語であり、サンダースの礎です。



第1話 ハリントン家の子供たち

1947年、ロンドン郊外ペリベール。

ハリントン家には2人の仲の良い姉弟がいました。

名前は、姉パメラ、弟ロナルド。2人とも病弱で、特に弟のロナルドは

胃弱で、生まれたときから野菜中心の食事をとらされていました。

頭のいいロナルドはやがて自分の食べる野菜や果物に興味を持ち始め、

ハーブを勉強するようになります。また、姉のパメラは体の弱さから

起こる肌荒れに悩まされていました。

年頃のパメラは、近所の子供たちに肌荒れを

「赤ぼちのパメラ」とからかわれることも。

そんな様子を見ていたロナルドは、なんとか姉を喜ばせたい一心で

庭のハーブやキッチン野菜、果物、そして寒天など、

食べられるぐらいに新鮮で安全な原料だけを使ったクリームを

プレゼントすることを思いつくのです。

そこから全てが始まりました。



Ronald John Harrington (1933~1960)

ロナルド・ジョン・ハリントン

植物・食料研究家として世界に先駆け自然化粧品を完成。植物の効能、ナチュラルビューティーの大切さを啓蒙。



その当時の女性は...?

「肌に悩む女性達」

当時のロンドンには、メイクやスキンケアの原材料が大量生産できる化学添加物の合成品が普及していました。化粧品に関する情報や知識も少なく、肌トラブルを訴える女性が急激に増えた時代でもありました。だからこそ、ロナルドは女性が安心して使える化粧品の研究に励みました。

「当時の日本」

戦後の日本は、欧米メーカーの進出やメディアの発達により、合成化粧品が主流に。精製度の低い石油由来成分が皮膚トラブルを引き起こしたとされる1970年代の化粧品公害訴訟事件まで、化学化粧品ブームは続きました。肌へのやさしさから、天然成分が見直されるようになったのは、この後のことです。

春の活動が始まりました!

5月26日、薄曇りで、気温が下がって肌寒く感じられるような天気の中、15名の販売関係者の皆さんと、今年に入って初めての農場ツアーを開催しました。当日は、ジャーマンカミツレの花の手摘み、マリーゴールド苗の補植、タイムの収穫、雑草取り、などの作業を行いました。皆さんのご協力のおかげで、たくさんのハーブの農作業を進めることができました!



明野ハーブ農場
たよりの



タイム



マリーゴールドの苗補植



ジャーマンカミツレの手摘み



収穫されたジャーマンカミツレ